

これからもお元気で

津奈木保育園あけぼの苑慰問

2月22日(金)、津奈木保育園児があけぼの苑を訪れ、お年寄りとの交流会を行いました。これは、お年寄りと交流する機会が減少する中で、世代間を越えたふれあいの場を広げようと取り組んでいるものです。

今年は発熱などの影響で出演できない5歳児4歳児に代わって、3歳児未満の36人が出演。元気いっぱい練習してきたお遊戯や歌を披露しました。披露が終わると、会場に集まったお年寄りからは惜しみない拍手が送られました。最後に園児からプレゼントも贈られ、皆さん満面の笑みを浮かべていました。



園児たちから花束が贈られました

一票の大切さを標語に込める

熊本県選挙管理委員会が開催した「平成24年度明るい選挙啓発作品コンクール」の標語の部において、応募総数1,307点の中から津奈木小2年の前田理玖さん(染竹)と津奈木中3年の門崎悠真さん(上下門)の2人の作品が入賞しました。

【優秀賞】

前田理玖

一びょうが ぼくらのみらい かがやかす

【入賞】

門崎悠真

投票で あなたの思い 伝えよう



何が当たるかは楽しみ

くじ引きで喜びの笑顔

つなぎ朝市お楽しみ抽選会

2月9日(土)、毎月恒例のつなぎ朝市がグリーンゲイト広場周辺で午前7時30分から開催され、会場は多くの人で賑わいました。今回は、500円のお買い物ごとに券が配られ、券を2枚集めると、JAや家菜つなぎ隊などの団体からのプレゼントが当たるお楽しみ抽選会が行なわれました。

町内外から約400人が訪れ、当たりくじを引いた人はとてもうれしそうに景品を受け取っていました。来場した人は「おいしいものを買えました。くじでも景品をもらえたので、とてもうれしいです」と話していました。



入賞者の前田理玖さん(左)と門崎悠真さん(右)

練習のときよりもっと速く!



自己ベストを出そうと必死に走っていました

つなぎっ子チャレンジマラソン大会

2月6日(水)、津奈木小学校と平国小学校合同で長距離走のタイムを競う「つなぎっ子チャレンジマラソン」が開催されました。津奈木小学校グラウンドと周辺道路をコースに、1・2年生は1km、3・4年生は1.5km、5・6年生は2kmをそれぞれ走りました。

当日は1年生から6年生の合計237人が参加しました。前日から降っていた雨も開会前には止み、塩山教育長がスタート合図のピストルを鳴らすと、児童らは元気いっぱいにスタート。自分たちで設定した目標タイムと競争の2つの部門にチャレンジし、最後まで必死に走り切りました。

毎年恒例の鬼退治

津奈木幼稚園豆まき

2月1日(金)、津奈木幼稚園で節分の豆まきが行なわれました。園児たちは、自分で作った鬼の面をつけて豆まきの準備をしていると、大きな鬼が教室に突然登場。驚いて物陰に隠れる園児もいる中、鬼に向かって必死に豆を投げつける園児もいました。「おには一そと一!」と声を出しながら、豆をまいて鬼を無事に教室から追い出しました。

その後、園児たちは自分たちの中にいる悪い鬼を追い出すため、お互いに豆をぶつけ合いました。まいた豆は自分の年の数だけ食べて、無病息災を祈りました。



鬼は豆を投げられ、とても痛そうです



わたがしをもらった人はみんな笑顔に

「みんな笑顔プロジェクト」始動

つなぎ舞鶴太鼓地域活動

つなぎ舞鶴太鼓が「みんな笑顔プロジェクト」を2月から始め、グリーンゲイト広場でわたがしのプレゼントを行なっています。これは、四季彩・グリーンゲイト・美術館をもっと応援したいという思いから始めたそうです。

各施設を訪れた人にわたがしをプレゼントし、他の施設の紹介・案内もしています。プレゼントするわたがしは重盤岩のようにゴワゴワしているため「重盤岩わたがし」と名付けたそうです。この取り組みは、これから毎週土曜日の午後2時から午後4時頃まで行なわれる予定です。